

# なきごえ

“特集ホワイト・タイガー”



1972

10

大阪市  
天王寺動物園協会



# ホワイト・タイガー飼育記録

## デリー動物園々長 シー・エル・バーシャ

灰色がかった白色やクリーム色でダークグレイあるいはチョコレート色の縞のある各種のタイガーは、アッサム（インド北東部の州）ベンガル（もとインド北東部の州）、ビハール（インド北東部の州）地方で知られているが、もっともよく知られている有名なホワイト・タイガーは、現在はマデイヤ・ブラデーシ（インド中央部の州）の一部である旧レワ王侯国に居るものである。過去50年間の間にこの地方に9匹のホワイト・タイガーが見られ、もっとも最近のものは1951年のものでこれがもっとも著名なものになったものである。1951年5月4匹の9ヶ月になる子供を連れて雌タイガーが1匹隠れ場所からとび出し、その子供のうち1匹（雄）がホワイトであった。この子供の監視を続け、後に生捕りにした。「モハーン」と名付けられ、レワのゴヴィンドガー宮殿でレワ・マハラジャ王のもとで飼われることとなった。

モハーンは、これもレワ地方の森林で捕獲された普通色の雌タイガーと一緒に飼われた。この雌は1953年9月にモハーンと交配した。2匹の子供が生まれたが、2匹とも普通色であった。そのうちの1匹（雌）は「ラダー」と名付けられ、成長してその父モハーンと交配し、1958年10月、4匹の子供が生まれ、4匹ともホワイトであった。

ラダーは良き母親で、4匹とも自分で育てた。この4匹は、「ラジャー」が雄、「ラニー」「スケシ」「モヒニ」が雌であった。

1963年インド政府は、ホワイト・タイガーの子孫に関し、レワ・マハラジャ王と協定を結んだ。この協定により2つがいのホワイト・タイガーとホワイト血統の2匹の普通の雌タイガーがインド政府の所有となった。予定通り、モハーンとスケシの1つがいのホワイト・タイガーがレワで飼われ、ラジャーとラニーの1つがいがデリーへ送られ、デリー動物園で飼われた。普通色の雌タイガー1匹もデリー動物園へ送られた。それ以来、デリー動物園はずっとホワイト・タイガーを飼育している。

レワから来たラジャーとラニーは、1964年初産で2匹のホ



〈ホワイト・タイガー“ラジャー”〉

イト・タイガーを生んだが、母親のラニーは子供を無視し手荒く扱ったので、1匹は死にもう一匹は親から離して人手で育てられた。この子供は「クリシュナ」と名付けられ今は成長して立派なタイガーになっている。1965年9月、ラニーは再び2匹のホワイト・タイガーを生んだがこの時もまた母親は子供を無視したので、2匹の子供は生残らなかった。1965年12月ラニーは3匹の子供-3匹ともホワイト-を生んだ。今度は子供達に対して非常に愛情を注ぎ、3匹ともすくすくと育っていったが、1年半が過ぎた時、そのうちの2匹が死んだ。1967年9月ラニーは4回目の出産で4匹の子供を生んだ。しかしそのうちの1匹は死産であった。1968年5月5回目の出産で3匹を生んだ。その後、1970年4月に2匹と1971年8月に4匹と2度出産した。ラニーは今も雄タイガー・ラジャーと一緒に居る。

普通色の雌タイガーであるラダーは、1964年にレワから送られてきた。ラダーはデリーに来た時妊娠していて、その年の8月、3匹の子供を生んだが、そのうちの1匹がホワイトであった。続いて2匹のホワイトを含め5匹の子供を生んだが、生まれて間もなく5匹とも死んだ。1969年6月ラダーは6回目の出産で4匹の子供を生み、うち2匹がホワイトで、2匹が普通色であった。間もなくホワイト1匹と普通色1匹が、ラダーの怠慢のため死亡した。

現在、世界中におけるホワイト・タイガーの分布は次の通りである。

場 所	タイガーの数		
	雄	雌	計
デリー動物園	8	4	12
アリポー動物園（カルカッタ）	5	2	7
ゴヴィンドガー宮殿（レワ）	2	3	5

### なきごえ10月号もくじ

デリー動物園におけるホワイト・タイガー飼育記録……	2・3
動物園グラフ……	4・5
万博に来たホワイト・タイガー……	6
動物園ニュース……	7



〈ホワイト・タイガー“ラジャー”と交配相手“ラダー”〉

ネルー動物園（ハイデラバード）	1	-	1
ラクノー動物園（ラクノー）	1	-	1
国立動物園（アメリカ、ワシントンD.C.）	-	2	2
ブリストル動物園（ロンドン）	1	6	7
計	18	17	35

現在インドでホワイト・タイガーを飼育しているのは、デリー動物園、レワのゴヴィンドガー宮殿、カルカッタのアリポー動物園、ハイデラバードのネルー動物園、ラクノーのラクノー動物園だけに限られている。デリー動物園には、現在4匹の雌ホワイト・タイガーが居りそのうち3匹は大人で、ラジャー、クリシュナ、ダリープとそれぞれつがいになっている。もう1匹は1年半の若雌で、似合いの年令の雄と一緒に飼っており、この1組は将来、繁殖用のつがいになるものと期待されている。

ホワイト・タイガーの近親交配（同血統繁殖）を避けるために1匹の雄ホワイト・タイガーがネルー動物園に1匹の雄がラクノー動物園に送られ、これらのタイガーが普通色の雌タイガーと交配できるようになり、新しい血縁関係が生れるようになった。最初の出産ではホワイトの子供が生れる可能性はないかも知れないけれども、2回目以降の出産では、普通色のものも生れるが、ホワイトの子供が生れる可能性はある。

ホワイト・タイガーは劣性形質で次の通り説明することができる。

タイガーは他のねこ類のように半数染色体遺伝子を作り出す倍染色体動物である。仮りにホワイト色に責任のある遺伝子が“W”と

いう単一の常染色体劣性遺伝子によって決定されるとすると、眼、外被、鼻、肉趾の普通色を決定する優性相対形質は“W”と呼ばれる。この仮説に従うと全てのホワイト・タイガーは“WW”という遺伝型で普通色のタイガーはそれが“Ww”かもしくは“Ww”となるはずである。

黄色タイガー間の交配では、両親が異質遺伝子をもつものであれば理論的には3対1の割合で黄色の子供とホワイトの子供を生むことができる。ホワイト・タイガー同志の交配であれば、ホワイト・タイガーだけを生むはずでホワイトと普通色タイガー間の交配では、黄色親の遺伝子によって2種の子供が生まれるはずである。もし黄色親が“WW”であれば、生まれる子供は全部、黄色い子供とホワイトの子供であらうし、多くの子供を生んでいくと、ホワイトと黄色の割合が大きく変化してきて、1対1に近づくであろう。その結果、ホワイト親から生まれる黄色タイガーは、“Ww”遺伝子ということになる。

当方の記録では、ホワイトの遺伝子をもつ普通色のタイガー

を含め、ホワイト・タイガーの形は普通色のタイガーよりも大きい。

デリー動物園においては、ホワイト・タイガーは空堀の囲いの中で半自然的な条件のもとに飼われている。上記のようにホワイト・タイガーの習性や生息環境と普通色タイガーのそれとは差がない。デリー動物園では、ホワイト・タイガーには、普通色タイガーと同種の食物が与えられている。すなわちホワイト・タイガーには1週間6日間、10キロの子野牛の肉が与えられ1日は断食日である。夜間は、木製の床、木製の囲いの部屋に入れる。各部屋の大きさは8フィート×5フィート×10フィートである。デリーの気候は、そんなにきびしくないで、部屋には、冷暖房用の特別な装置はしていない。タイガーは1年中、運動用の十分なスペースのある屋外囲いの中で見物に供される。しかし、12月～1月の特に寒い夜には暖房して部屋を快適にする。

雌タイガーは出産時には隔離されることを好むようであるので、出産直前になると、他のタイガーから離され、出産用に特別に薄暗くした部屋に入れられる。時には、子供を生んだ雌タイガーが十分な食物を与えなかったり、世話をしないこともあり、そういう場合には子供を親から離して動物病院で人手で育てられる。

デリー動物園は、世界におけるホワイト・タイガー飼育の中心地である。



〈ホワイト・タイガー“ラニー”とその子供〉

### 参考文献

1. イー・ビー・ジー著 1964年 コリンズ社 「インドの野生動物」
2. ケー・エス・サンカーラ著 1969年 インド野生動物保存協会刊行物 1969年11月号 「チータ」
3. ビー・デー・ストレイシー著 1968年 アーサー・パーク社 ロンドン 95頁 「動物の世界——タイガー」
4. ダブリュー・ビー・イアン・ソートン、ケー・ケー・ヤング、ケー・エス・サンカーラ共著 1967年 ジュー・ズール・ロンド社 「レワのホワイト・タイガー遺伝学」

### 表紙の写真説明

#### “キリンの親子”

キリンが続いて2頭生まれました。赤ちゃんキリンも順調に育って、親子5頭、大へんにぎやかになりました。



# 動物園グラフ



↑ “おすわり”

おやつヨーグルトをもらうときは、行儀よくおすわりして。

## “なかよしオラン・ウータン”

オラン・ウータンは、今では大変少なくなってきましたので、国際保護動物として、保護されています。当園でも4頭おりますが、ちょうど真中の2匹がよい夫婦になりそうで、楽しみにしています。ここで、飼育係の大東さんと、オラン・ウータンの生活ぶりをご紹介します。

← “せいくらべ”

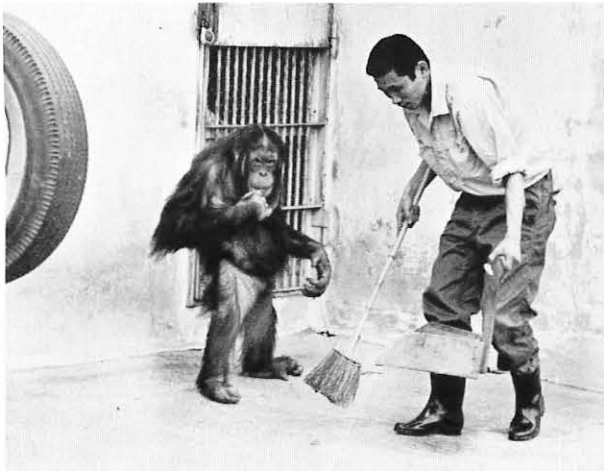
どれだけ大きくなったかなあー!!  
 ちょうどいいカップルになりました。

(右が、おすのブル君  
 左が、めすのユキ)



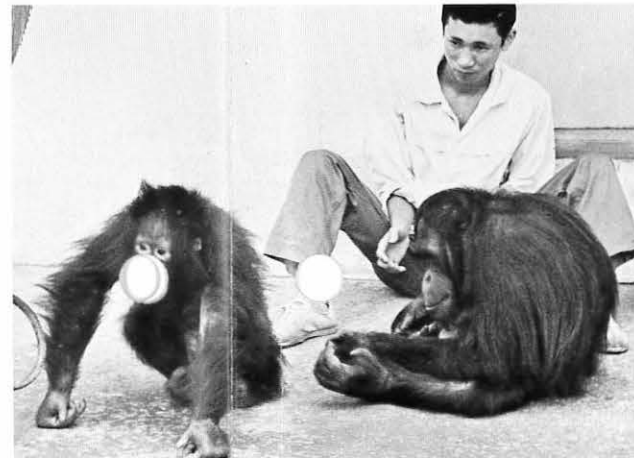
↑ “おいしいなあー!!”

冷たい水をゴクゴク  
 水遊びはきらいだけど、口にホースをかけてもらっていると、ちょっときもちがいいんだ!!



← “じゃまをしないでね!!”

掃除のときは、すみによって、飼育のお兄さんのじゃまをしないようになっています。でもちょっとイタズラしちゃうかな!!

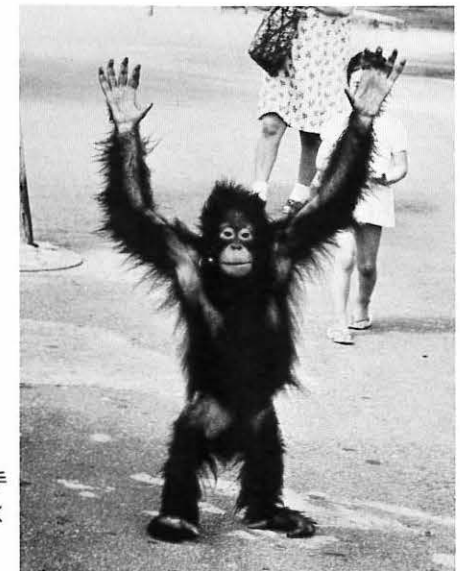


← “団らん”

こうして遊んでもらうときが、一ばん楽しいんです。

→ “お散歩”

立って歩くのは、ちょっと苦手だけど、ほれ!こんなにうまく歩けるようになりました。



## 9月動物園日記

3. 8月24日生れのカバ、キリンの赤ちゃんを、本日から一般入園者に見ていただくことにしました。
4. トカラウマが腹痛を起しましたが、軽くて、2~3日後には回復しました。
5. ゴリラのラリちゃん(めす)に、初潮が見られました。
6. 防火訓練を行いました。園内の獣舎から出火という想定で、入園者の避難誘導と、動物の狂奔防止、及び、消火活動を訓練しました。

8. インドガン2番が入園しました。
9. タイワンリス2匹寄付
11. カメレオン1匹死亡。
12. キリンの赤ちゃん(めす)が生まれました。8月24日について2頭目です。哺乳も確認して順調です。1匹のブレイリードッグが、野猫と思われるものに、咬み殺されてしまいました。
13. アカネズミヘビが、20匹ほどふ化しました。
14. 人間の“敬老の日”を前に、動物園の長寿動物エミューに、幼稚園児と動物愛護会から慰問があり、好物のブドウやバナナが、贈られました。

16. 台風20号が来襲しました。動物たちには被害はありませんでしたが、園内の樹木が、80本以上も倒れ、200本もの樹の枝や幹に、被害がありました。これで、一段と園内の緑が失われてしまいました。
19. サイの赤ちゃんと母サイを、父親サイと同居させました。サイの赤ちゃんは、生後7カ月です。
20. 動物愛護週間の第1日目として、動物愛護会から、動物の赤ちゃんの慰問がありました。今年生まれたラグダや、ライオンの赤ちゃんに、ミルクの贈りものがありました。今度生まれたキリンの赤ちゃんは、順調に成長して

- いますので、まえの赤ちゃんと運動場で、初めて同居させました。やはり、半月以上も前に生まれていますと、さすがに歩き方もしっかりしていて、姉さん振りをみせていました。
21. ビューマの赤ちゃんが、3頭生まれました。
23. 家畜動物総合感謝祭が行なわれました。朝からよい天気に恵まれ、園内は超満員でした。
27. 豚の赤ちゃんが生まれました。
30. 万国博のとき、インドから寄贈された子像も、かなり大きくなってきましたので、南園象舎を増設することになり、仮小屋に移されました。



# 万博に来たホワイト・タイガー

ホワイトタイガーは、1970年の3月13日に万博会場に到着して、日本の土を始めて踏みました。

大変な寒がり屋で、又大変な大食漢でもありました。食事の日量は私共の飼育しているトラの日量の倍に当る、10kgのマトン肉を1日にペロリと平らげっていました。

寒がり屋の方は、ダリブに付いてやって来た好漢飼育係のラムリカー君も、一しよで、うら覚えの日本語で、サムイ、サムイ、を連発していました。これは連日30℃を越す印度から一挙に20℃も低い日本に来たのだからこれは当然です。ダリブの室は直ちに暖房されたが、戸外にいるラムリカー君については全く気毒なことでありました。

その寒さのせいと新しいコンクリート床が荒く底びえも加わって踵にヒビ割が出来て、出血が止まらないので動物園に相談に来られたことがありました。局所止血剤は塗布出来ないで、カチーフやバイシリンV<sub>12</sub>が前後3回投与されたように記憶しています。

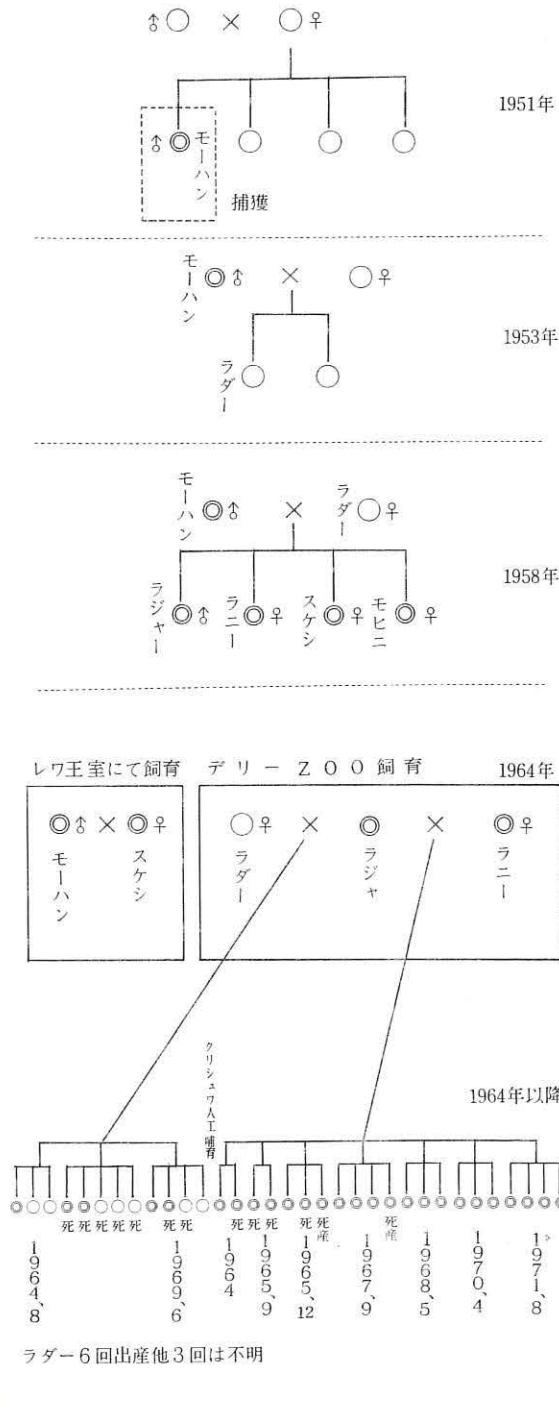
前文ニューデリーの記録を読まれたら、大変な近親繁殖になっていることが分かりますが、固定されたホワイトタイガー2頭から繁殖が行なわれたものでなく♂トラ、モーハン1頭からはじまっていることからして、この間の御苦労がよく分かり、遺伝の法則もよく理解出来ますので前文を分かりやすく図解して見ました。

前文を参考にしてください。

さて万博にやって来たダリブの明確な位置は分かりませんが、ラジャとラダーとの間に生まれた一頭のようなものでした。(松岡恵爾)

## ホワイトタイガー系図

◎印 ホワイトタイガー



# 動物園ニュース

☆ピューマの赤ちゃん誕生

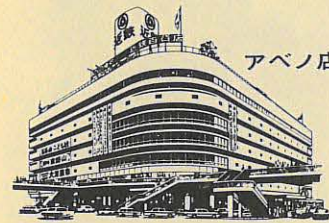


9月20日、ピューマ(アメリカライオン)の赤ちゃんが、3頭生まれしました。おす1頭、めす2頭で、この親は、ここ数年連続して出産しています。いつも9月中旬に、1〜3頭づつうんでいます。まだ、目はあいていませんが、この本が出来るころには、みなさんにお目

昭和47年度 天王寺動物園児童及び幼児動物画コンクールの入選者が決定しました。当園では、第3回目の児童動物画コンクールの作品募集を行いました。本年から幼稚園、保育園児の部も設けました。下記のとおり秋の動物園まつりの一環行事として入選者を表彰します。

- |          |  |
|----------|--|
| 1. 募集期間  | 昭和47年6月1日〜9月10日                        |
| 1. 審査月日  | 昭和47年9月16日                             |
| 1. 応募作品数 | 1,024点 46校                             |
| 1. 展示期間  | 昭和47年10月29日〜11月12日                     |
| 1. 展示場所  | 天王寺動物園地下道壁面                            |
| 1. 展示点数  | 入選作 40点                                |
| 1. 表彰式   | 昭和47年11月5日 午後1時から動物園事務所前に入選者に賞状賞品を授与す。 |

# 明日のくらしのコンサルタント



つねに新しいくらしのイメージをお届けする近鉄百貨店 品揃えは勿論のことゆきとどいたサービスで 皆さまをお迎えいたします 身近なコンサルタントとしてぜひご利用ください



TEL. アベノ(06)621-1231 / 上本町(06)779-1231 / 奈良(0742)33-1111

動物好きのみなさんにおねがい  
「キーウイ」のエサに、ミミズをください!!  
万国博のとき、ニュージーランドからおくられた「キーウイ」のエサになるミミズを動物園では、園内で繁殖していますが、今年は繁殖が少なくて困っています。どうか、ミミズを寄贈(きぞう)して下さるか、ミミズのたくさんいるところを、下記のところまで教えて下さい。  
(大阪市天王寺動物園 TEL 771-8401-2)

- 10/29〜11/12 児童および幼児動物画コンクール 入選作品展示  
10/29〜11/5 かぼとくりんの赤ちゃん愛称募集(ひかりのくに協賛)  
11月5日  
1時 動物画コンクール入選者表彰(天王寺動物園協会協賛)  
2時〜3時 お笑い大会(雪印乳業協賛)  
11月12日  
10時〜3時 ちびっ子撮影会(小西六協賛)  
1時 かぼとくりんの赤ちゃん愛称当せん者表彰(ひかりのくに出版社、動物園協会協賛)

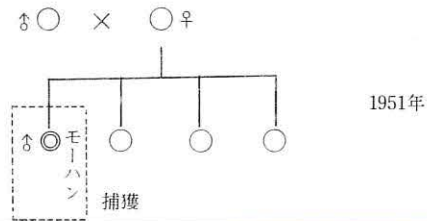


# 万博に来たホワイト・タイガー

ホワイトタイガーは、1970年の3月13日に万博会場に到着して、日本の土を始めて踏みました。  
 大変な寒がり屋で、又大変な大食漢でもありました。  
 食事の日量は私共の飼育しているトラの日量の倍に当る、10kgのマトン肉を1日にペロリと平らげました。

## ホワイトタイガー系図

◎印 ホワイトタイガー



# 動物のふしぎな世界

●全4巻 春・夏・秋・冬

- 園児から小学校低学年向きです。
- オールカラー160頁・B5判・上製本
- 各巻定価1,300円/セット価5,200円

子どもに動物に対する深い興味と、親しみを与える本書は、春・夏・秋・冬の季節別に活動する動物の生態の不思議さや、人と動物との心あたたまるふれ合いなどのエピソードを集めたものです。きっと子どもと動物たちの間にすばらしい世界がはじまるでしょう。

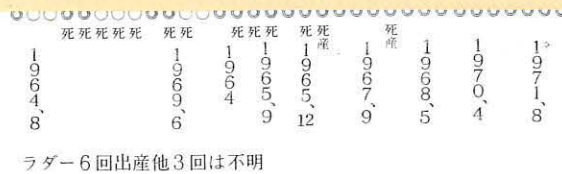
●お近くの書店・百貨店で求めください。 **ひかりのくに**



詳しく見ました。

前文を参考にしてご覧下さい。

さて万博にやって来たダリブの明確な位置は分かりませんが、ラジャとラダーとの間に生まれた一頭のようなものでした。(松岡恵爾)



ラダー6回出産他3回は不明

# 動物園ニュース

## ☆ピューマの赤ちゃん誕生



9月20日、ピューマ(アメリカライオン)の赤ちゃんが、3頭生まれました。おす1頭、めす2頭で、この親は、ここ数年連続して出産しています。いつも9月中旬に、1~3頭づつうんでいます。まだ、目はあいていませんが、この本が出来るころには、みなさんにお目見得できると思います。

## ☆動物感謝祭で多彩な催しもの



秋分の日(9月23日)は秋晴れの上天気、連休第1日目とあって、多ぜいの入園者がありました。恒例の動物感謝祭が、慰霊碑の前で行なわれ、動物愛護会関係者や、幼稚園児の参加がありました。また、動物代表として、オランウータンのユキちゃんや、ライオンの赤ちゃんもお参りました。

このあと、ステージでは動物愛護者、動物愛護図画の入賞者の表彰や、功勞動物の表彰がありました。終って、ぬいぐるみ人形の劇や、チンパンジーの珍芸、幼稚園児のお遊戯などで、入園のよい子たちも大喜びでした。

## ☆秋の動物園まつり

- 期間 昭和47年10月29日~11月12日
- ところ 大阪市天王寺動物園
- 主催 大阪市天王寺動物園 社団法人 大阪市天王寺動物園協会
- 行事
  - 期間中の日曜、祝日に限り
    - 幼稚園児の遊戯会 ○チンパンジーの演技
    - ぬいぐるみのたのしい人形劇 ○動物無料相談所開設
    - 入園記念スタンプ設置
  - 10月29日 (1時~3時) 民謡大会(大阪文ノ里民謡会協賛) 10/29~11/12 児童および幼児動物画コンクール 入選作品展示 10/29~11/5 かぼとけの赤ちゃん愛称募集(ひかりのくに協賛) 11月5日
    - 1時 動物画コンクール入選者表彰 (天王寺動物園協会協賛)
    - 2時~3時 お笑い大会(雪印乳業協賛)
  - 11月12日
    - 10時~3時 ちびっ子撮影会(小西六協賛)
    - 1時 かぼとけの赤ちゃん愛称当せん者表彰 (ひかりのくに出版社、動物園協会協賛)

昭和47年度 天王寺動物園児童及び幼児動物画コンクールの入選者が決定しました。  
 当園では、第3回目の児童動物画コンクールの作品募集を行いました。別表のとおり入選者が決定しました。本年から幼稚園、保育園児の部も設けました。  
 下記のとおり秋の動物園まつりの一環行事として入選者を表彰します。

- 記
- 募集期間 昭和47年6月1日~9月10日
  - 審査月日 昭和47年9月16日
  - 応募作品数 1,024点 46校
  - 展示期間 昭和47年10月29日~11月12日
  - 展示場所 天王寺動物園地下道壁面
  - 入選者数 40名
  - 表彰式 昭和47年11月5日 午後1時から動物園事務所前に入選者に賞状賞品を授与す。

## 入選者氏名 (◎印は全国コンクール入賞者です)

学校名	学年	氏名
○ みなと幼稚園	4才	谷内けいすけ
○ 〃	5才	西田健二
○ 〃	5才	丹後由美
○ 〃	5才	井上敬太
〃	4才	玉岡な、おこ
鶴町学園	5才	くだらひさこ
〃	5才	うめざわまさひろ
大阪市立八幡屋保育所	5才	きしだくりこ
みなと幼稚園	4才	柏木りえこ
金塚幼稚園	5才	植田美幸
○ 大阪市立天王寺小学校	1	まえじまあきひろ
○ 〃 玉出小学校	1	かねがえやすただ
〃 東三国小学校	1	松村秀徳
〃 天王寺小学校	1	ごとうけんたろう
〃 茨田南小学校	1	たてみぞ かずみ
○ 〃 北津守小学校	2	木下英樹
○ 〃	2	原田砂織
〃	2	梅本讓
〃	2	森本まさみ
〃 玉出小学校	2	柴田真希子
○ 〃	3	中村みえこ
○ 〃 北津守小学校	3	川谷とおる
〃	3	新谷美恵子
〃	3	松村雅宏
〃 玉出小学校	3	吉田りえ
○ 〃 北津守小学校	4	岸田智恵子
○ 〃	4	黒田文博
〃 豊崎本庄小学校	4	西田恵
〃 北津守小学校	4	植木芳史
〃	4	鴻池正野
○ 〃	5	神野圭三
○ 〃 豊崎本庄小学校	5	中島弘美
〃 玉出小学校	5	細川左右
〃 北津守小学校	5	南浩美
〃 三光小学校	5	泰田雄一
○ 〃 北津守小学校	6	前村民子
○ 〃 豊崎本庄小学校	6	山崎道夫
〃 北津守小学校	6	金光康恵
〃	6	井上貞子
〃 豊崎本庄小学校	6	井手上浩子

~~~~~ 動物好きのみなさんにおおがいに~~~~~  
 「キーウイ」のエサに、ミミズをください!!  
 万国博のとき、ニュージーランドからおくられた「キーウイ」のエサになるミミズを動物園では、園内で繁殖していますが、今年は繁殖が少なくて困っています。  
 どうか、ミミズを寄贈(きぞう)して下さるか、ミミズのたくさんいるところを、下記のところまで教えて下さい。  
 (大阪市天王寺動物園 TEL 771-8401~2)



なきごえ 昭和47年10月15日発行（毎月1回15日発行）第8巻第10号（通巻87号）

編集 / 大阪市天王寺動物園

発行人 / 大阪市天王寺動物園協会 和田辰巳

印刷所 / 株式会社 松村善進堂

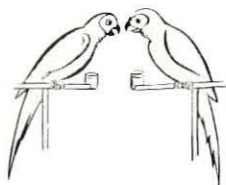
定価100円(送料共)

〒543 大阪市天王寺区玉水町2

電話 大阪 (06) 771-0201

振替口座 大阪 37823

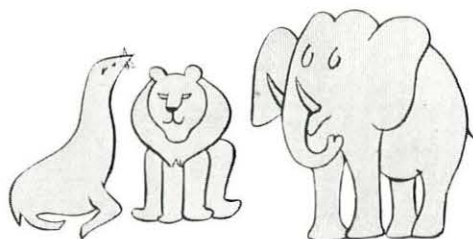
1年継続(12部)1,100円(送料共)



## 鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達

- ・医学実験用動物
- ・愛玩犬、猫直輸入
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・教材用鳥獣剥製販売
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券150円・鳥獣価格表100円



## 有限会社 吉川商会

本社 神戸市生田区中山手通三丁目二八番地 電話 (078)22-8195・22-1517

飼育場 神戸市葺合区神仙寺通三丁目一番地 電話 (078)24-3494



自然の  
おいしさ

全糖

- 合成甘味料・合成保存料・合成糊料・合成着色料はっさい含まれていません。



# 雪印ヨーグル

パイン・オレンジ・フルーツカクテル

各140c.c.=60円